

授業科目名	看護技術Ⅰ			担当教員	阿部 オリエ、鬼丸 美紀、 添田 梨香	
開講年次	1 年前期	セメスター	1		時間数(単位数)	45 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する。					
到達目標	1. 看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を説明できる 2. 看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を説明できる 3. 人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術を実施することができる 4. 看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身に着けることができる					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、看護技術の原理・原則を学ぶ重要な科目である。また、今後、看護技術Ⅱ～Ⅴへと段階を追って看護技術を学ぶ上で基盤となる科目となる。看護の基盤の科目群の中でも、方法論である看護技術を学ぶことを通して、看護の専門性を探究する力を養う。かつ、学習する姿勢を身に着けることが求められ、大学生として主体的かつ自律的に継続して学習するための能力である自己教育力を養成する科目でもある。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○			◎	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	看護援助における援助技術の概念と特殊性について理解する 看護援助に共通する原理・原則、基本技術とは何か	講義	予習：Ⅰ p2-15、Ⅱ p2-8 を熟読し、ポイントをおさえる		30 分	阿部
2	安全に関する知識と技術を習得する 1) 事故防止のための基礎的知識・感染性廃棄物の取り扱い 2) 感染予防としての日常的手洗い、標準予防策など	講義	予習：Ⅱ p422-430、452-453 を熟読し、ポイントをおさえる		30 分	阿部
3	対象の理解に必要となる基本的知識を習得する 1) 観察するということ 2) バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸）、身体計測など 生活環境調整の知識を習得する	講義	予 習：Ⅰ p88-96、81-86、107-122、Ⅱ p10-22 を熟読し、ポイントをおさえる		30 分	阿部
4	対象の理解に必要となる基本的技術を習得する 1) バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸） 2) 身体計測（身長・体重・腹囲）	演習 (実技)	予習：バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸）、身体計測（身長・体重・腹囲）ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：体温・脈拍・呼吸の測定ができるように練習する		60 分	阿部
5	生活環境調整の技術を習得する 環境調整、ベッドメイキング	演習 (実技)	予習：空床のベッドメイキング、ベッド周囲の環境調整ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：ベッドメイキング、ベッド周囲の環境調整ができるように練習する		60 分	阿部
6						
7	活動と休息、安楽確保に関する基本的知識を習得する	講義	予習：Ⅱ p94-136、138-150 を熟読し、ポイントをおさえる		60 分	添田
8	活動と休息、安楽確保の基本的技術を習得する	演習 (実技)	予習：Ⅱ p103-112、138-145 を熟読し、体位変換、体位保持ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：体位変換、体位保持ができるように練習する		60 分	添田
9						
10	活動と休息の基本的技術を習得する 歩行・移乗（車いす・ストレッチャー）・移送	演習 (実技)	予習：Ⅱ p112-126 を熟読し、歩行介助、車いすへの移乗・移送、ストレッチャーへの移乗・移送ができるようにポイントを学習ノートにまとめる		60 分	添田

11	技術試験：ベッドメイキングもしくは移動・移送	演習 (実技)	復習：事前配布のチェックリストに基づき練習する	90 分	阿部
12	清潔・衣生活援助の知識を習得する (1) 全身清拭、寝衣交換	講義	予習：Ⅱ p152-170、202-209 を熟読し、ポイントをおさえる	60 分	鬼丸
13	清潔・衣生活援助の技術を習得する (1) 全身清拭、寝衣交換	演習 (実技)	予習：Ⅱ p152-170、202-209 を熟読し、全身清拭、寝衣交換ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：全身清拭、寝衣交換ができるように練習する	60 分	鬼丸
14					
15	清潔・衣生活援助の知識を習得する (2) 洗髪、部分浴	講義	予習：Ⅱ p170-184 を熟読し、ポイントをおさえる	60 分	鬼丸
16	清潔・衣生活援助の技術を習得する (2) ベッド上での足浴、洗髪	演習 (実技)	予習：Ⅱ p170-175、182-184 を熟読し、ベッド上での足浴、洗髪ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：足浴、洗髪ができるように練習する	60 分	鬼丸
17					
18	清潔・衣生活援助の知識を習得する (3)、食の援助技術を習得する 食事の援助、整容、口腔内清潔	講義	予習：Ⅱ p26-39、188-202 を熟読し、ポイントをおさえる	60 分	鬼丸
19	清潔・衣生活援助の技術を習得する (3)、食の援助技術を習得する 食事の援助、整容、口腔内清潔	演習 (実技)	予習：Ⅱ p26-39、188-202 を熟読し、食事の援助、整容、口腔内清潔ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：食事の援助、整容、口腔内清潔ができるように練習する	60 分	鬼丸
20	排泄援助の知識を習得する、清潔・衣生活援助の知識を習得する (4) 床上排泄、陰部洗浄	講義	予習：Ⅱ p58-70、185-187 を熟読し、ポイントをおさえる	60 分	鬼丸
21	排泄援助の技術を習得する、清潔・衣生活援助の技術を習得する (4) 床上排泄、床上における陰部洗浄	演習 (実技)	予習：Ⅱ p58-70、185-187 を熟読し、床上排泄、(床上における) 陰部洗浄ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 復習：床上排泄、陰部洗浄ができるように練習する	60 分	鬼丸
22					
23	まとめ 記録と報告 [技術チェック1フィードバック] [筆記試験のフィードバック]	講義	予習：Ⅰ p256-262 を熟読する。 復習：実習にむけての課題について考える	45 分	阿部
先行履修科目					
テキスト		1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第17版、医学書院、2018。 2) 任和子他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 第17版、医学書院、2018。			
参考文献		初回時に文献リストを配布する。その他、適宜、文献を紹介する。			
評価方法		筆記試験（70%）、実技試験（10%）、学習ノートの充実度や授業への参加度（20%）を総合して評価する。			
教員等の実務経験		様々な分野における看護の臨床経験を有する教員が、その経験を活かし看護技術の講義演習を行う。			
メッセージ		本科目は初めての演習科目となります。自分自身で看護技術を実施することになりますので、知識だけではなく、技術の習得も必須です。ここでは、看護技術の手順だけを覚えるのではなく、看護技術の目的や根拠を考える力を身に付けてほしいと願っています。そのためには、知識を習得するのはもちろんのこと、科学的な看護を実践するための方法として看護技術の修得を目指してほしいと願っています。そのための学習方法を自分自身で身に付けて欲しいと思っていますが、自分で感じる疑問や自分自身の課題に注目することが必要です。積極的な取り組みを期待しています。			